

第4章 道路計画の必要性の検討

章 内 目 次

4. 道路計画の必要性の検討	4-1
4.1. 課題解決の目標の設定・更新	4-1
4.1.1. 課題解決の目標(政策目標)の設定・更新	4-1
4.1.2. 多機能空間の具体案の導入による目標(留意事項)の設定	4-3
4.2. 道路計画の有用性・多機能空間の実現可能性の検討	4-6
4.2.1. 道路計画の有用性・多機能空間の目標の実現可能性の検討	4-6
4.2.2. 道路計画の必要性の整理	4-10
(1) 広域道路ネットワークに求められる役割に対応する道路計画の必要性の整理 ...	4-10
(2) 配慮事項に対応する道路計画の必要性の整理	4-11

その上で、目標に対する道路計画の有用性・多機能空間の目標の実現可能性を検討し、東京南西部地域の道路計画の必要性を整理した。

なお、本検討では 3 章の検討結果を踏まえ、

2 章及び 3 章で検討した結果及び過年度成果を踏まえ、当該地域における道路計画として、広域道路ネットワークに求められる役割・機能に対する課題解決の目標（政策目標）を更新するとともに、

2.3 で整理した、広域道路に求められる機能・役割を踏まえ、過年度成果の東京南西部地域における課題解決の目標（政策目標）について更新を行った。下表に、広域道路に求められる機能・役割と、それに対応する課題解決の目標（政策目標）を示す。なお、赤字部分は、過年度成果から更新された内容を示す。

表 4-1 広域道路ネットワークに求められる役割・機能に対する政策目標

No.	分類	広域道路ネットワークに求められる役割・機能	対応する政策目標
1	利便性強化・ 効率化	日常の移動の利便性・快適性を確保	D.交通分担の整序化
2		日常の移動の定時性向上	
3		都市・拠点間アクセス強化	
4		経路選択の自由度の高い道路ネットワークを形成	
5		自動車専用道路へのアクセス強化	
6	都心の渋滞緩和	都心への通過交通流入の抑制	C.都心部の渋滞緩和
7	拠点機能強化	主要な鉄道駅や道の駅等の交通拠点へのアクセス強化	A.ゲートウェイへのアクセス強化
8	観光振興	観光拠点へのアクセス強化	A.ゲートウェイへのアクセス強化
9	物流支援	物流網の形成	A.ゲートウェイへのアクセス強化
10		トラックの大型化への対応	
11		空港・港湾等の物流拠点へのアクセス強化	
12		自動物流道路等の多機能空間への進化	
13	医療支援	第三次救急医療施設等へのアクセス向上	B.災害への備えとしての道路網の強化
14	交通安全	幹線道路における安全性向上	D.交通分担の整序化
15		歩行者・自転車に対して安全・安心な道路空間の創出	
16	防災	発災時の救命活動、支援物資輸送のための道路ネットワークの形成	B.災害への備えとしての道路網の強化
17		災害時のリダンダンシー確保	
18		治水機能(調整池・導水機能等)等の多機能空間への進化	
19	環境改善	地球環境・沿道環境の保全	E.地球温暖化防止等の環境の保全
20		ネイチャーポジティブの実現	

以上を踏まえ、過年度成果を更新する形で、以下の通り、合計5つの政策目標を立案、整理した。

なお、下表の赤字部分は、過年度成果から更新された内容を示す。

表 4-2 政策目標一覧

No.	政策目標	概要
A	東名高速等から我が国の ゲートウェイへのアクセス強化	
B	首都直下地震や 激甚化する水害等 の災害への備えとしての 道路網の強化	
C	都心の渋滞緩和	
D	交通分担の整序化	
E	地球温暖化防止等の 環境の保全	

4.1.2. 多機能空間の具体案の導入による目標（留意事項）の設定

3.3 で整理した、東京南西部地域に求められる多機能空間の具体案の導出、2.3 で整理した、広域道路ネットワークに求められる機能・役割及び配慮事項、及び過年度成果を踏まえ、東京南西部地域における、多機能空間の具体案の導入による目標の設定を行った。

表 4-3 多機能空間の具体案の導入による目標の設定

No.	分類	広域道路ネットワークに求められる役割・機能
1	利便性強化・効率化	日常の移動の利便性・快適性を確保
2		日常の移動の定時性向上
3		都市・拠点間アクセス強化
4		経路選択の自由度の高い道路ネットワークを形成
5		自動車専用道路へのアクセス強化
6	都心の渋滞緩和	都心への通過交通流入の抑制
7	拠点機能強化	主要な鉄道駅や道の駅等の交通拠点へのアクセス強化
8	観光振興	観光拠点へのアクセス強化
9	物流支援	物流網の形成
10		トラックの大型化への対応
11		空港・港湾等の物流拠点へのアクセス強化
12		自動物流道路等の多機能空間への進化
13	医療支援	第三次救急医療施設等へのアクセス向上
14	交通安全	幹線道路における安全性向上
15		歩行者・自転車に対して安全・安心な道路空間の創出
16	防災	発災時の救命活動、支援物資輸送のための道路ネットワークの形成
17		災害時のリダンダンシー確保
18		治水機能(調整池・導水機能等)等の多機能空間への進化
19	環境改善	地球環境・沿道環境の保全
20		ネイチャーポジティブの実現

No.	配慮事項
1	極めて高度な土地利用がなされている。加えて、文化財指定された史跡などが点在している地域
2	京浜臨海部及び羽田空港周辺地域は、国際的ビジネス拠点の形成を目指している
3	東京外環は、東名高速～湾岸道路を除く全ての区間で既開通または事業中
4	川崎縦貫道路Ⅰ期が都市計画決定され用地取得が進んでいる
5	国道1号や国道409号等の幹線道路沿いに大規模な公有地や民間事業所用地が存在
6	学術・研究開発機関等が川崎市を中心に点在
7	令和元年台風第19号により、東京外環(東名～湾岸)沿線地域では約2,500棟の浸水被害が発生
8	令和2年「東京外かく環状道路(関越～東名)」工事における陥没事故が発生

表 4-4 多機能空間の具体案の導入による目標の設定

No.	分類	広域道路ネットワークに求められる役割・機能
1	利便性強化・効率化	日常の移動の利便性・快適性を確保
2		日常の移動の定時性向上
3		都市・拠点間アクセス強化
4		経路選択の自由度の高い道路ネットワークを形成
5		自動車専用道路へのアクセス強化
6	都心の渋滞緩和	都心への通過交通流入の抑制
7	拠点機能強化	主要な鉄道駅や道の駅等の交通拠点へのアクセス強化
8	観光振興	観光拠点へのアクセス強化
9	物流支援	物流網の形成
10		トラックの大型化への対応
11		空港・港湾等の物流拠点へのアクセス強化
12		自動物流道路等の多機能空間への進化
13	医療支援	第三次救急医療施設等へのアクセス向上
14	交通安全	幹線道路における安全性向上
15		歩行者・自転車に対して安全・安心な道路空間の創出
16	防災	発災時の救命活動、支援物資輸送のための道路ネットワークの形成
17		災害時のリダンダンシー確保
18		治水機能(調整池・導水機能等)等の多機能空間への進化
19	環境改善	地球環境・沿道環境の保全
20		ネイチャーポジティブの実現

No.	配慮事項
1	極めて高度な土地利用がなされている。加えて、文化財指定された史跡などが点在している地域
2	京浜臨海部及び羽田空港周辺地域は、国際的ビジネス拠点の形成を目指している
3	東京外環は、東名高速～湾岸道路を除く全ての区間で既開通または事業中
4	川崎縦貫道路Ⅰ期が都市計画決定され用地取得が進んでいる
5	国道1号や国道409号等の幹線道路沿いに大規模な公有地や民間事業所用地が存在
6	学術・研究開発機関等が川崎市を中心に点在
7	令和元年台風第19号により、東京外環(東名～湾岸)沿線地域では約2,500棟の浸水被害が発生
8	令和2年「東京外かく環状道路(関越～東名)」工事における陥没事故が発生

また、多機能空間の具体案である[REDACTED]の導入にあたり、留意事項についてそれぞれ整理を行った。

表 4-5 多機能空間の具体案[REDACTED]導入の留意事項

メリット	[REDACTED]
デメリット	[REDACTED]

4.2. 道路計画の有用性・多機能空間の実現可能性の検討

4.1 で設定した、当該地域における道路計画としての課題解決の目標（政策目標）及び多機能空間の具体案の導入による目標（留意事項）に対して、目標に対する道路計画の有用性及び多機能空間の目標の実現可能性を検討した。

その上で、東京南西部地域の道路計画の必要性について整理を行った。

4.2.1. 道路計画の有用性・多機能空間の目標の実現可能性の検討

4.1 で設定した、当該地域における道路計画としての課題解決の目標（政策目標）及び多機能空間の具体案の導入による目標（留意事項）に対して、目標に対する道路計画の有用性として、政策目標や広域道路ネットワークに求められる役割・機能、多機能空間の導入による目標に対し、道路計画や多機能空間の具体案によってどれほど達成することが可能かについて検討した。

表 4-6 当該地域における道路計画の有用性・多機能空間の目標の実現可能性の検討

No.	対応する 政策目標	分類	広域道路ネットワークに求められる 役割・機能	目標に対する道路計画の有用性
9	A.ゲートウェイへのアクセス強化	物流支援	物流網の形成	◎羽田空港や京浜港から東名、新東名等、重要な物流網へのアクセスが強化
10			トラックの大型化への対応	◎重要物流道路の役割を果たし、トラックの大型化に貢献
11			空港・港湾等の物流拠点へのアクセス強化	◎羽田空港・京浜港から各地への利便性が向上
12			自動物流道路等の多機能空間への進化	
7		拠点機能強化	主要な鉄道駅や道の駅等の交通拠点へのアクセス強化	△様々な交通が集まる羽田空港へのアクセスが高まることで、多様な交通への乗換が強化
8		観光振興	観光拠点へのアクセス強化	◎羽田空港から関東内陸地域等の観光地への自動車専用道路でのアクセスが強化
16	B.災害への備えとしての道路網の強化	防災	発災時の救命活動、支援物資輸送のための道路ネットワークの形成	○災害時の緊急輸送道路として期待
17			災害時のリダンダンシー確保	◎災害時に、放射方向の高速道路で通行止めが発生した場合での迂回機能の確保に貢献
18			治水機能(調整池・導水機能等)等の多機能空間への進化	
13		医療支援	第三次救急医療施設等へのアクセス向上	◎搬送可能な第三次救急医療機関が増加し、救急搬送に貢献

4. 道路計画の必要性の検討

No.	対応する 政策目標	分類	広域道路ネットワークに求められる 役割・機能	目標に対する道路計画の有用性
6	C.都心部の 渋滞緩和	都心の渋滞 緩和	都心への通過交通流入の抑制	◎湾岸部から内陸部への移動や、 東京都心部を東西に横断・通過す る等において、迂回機能の確保に 貢献
14	D.交通分 担の整序 化	交通安全	幹線道路における安全性向上	◎混雑している環八、国道 409 号 からの転換による安全性向上に貢 献
15			歩行者・自転車に対して安全・安心な 道路空間の創出	○一般道利用交通の一部が広域道 路利用に転換することにより、一般 道の利便性・快適性が向上。幹線 道路への玉突き効果で生活道路の 抜け道利用が減少し、周辺地域の 安全性が向上
1		利便性強 化・ 効率化	日常の移動の利便性・快適性を確保	◎広域道路を利用することにより、 所要時間短縮や、所要時間の信頼 性向上が見込まれる
2			日常の移動の定時性向上	◎広域道路を利用することにより、 所要時間短縮や、所要時間の信頼 性向上が見込まれる
3			都市・拠点間アクセス強化	○地域間の交流を促進し、地域の 活性化・発展に貢献
4			経路選択の自由度の高い道路ネット ワークを形成	◎特に、湾岸部から内陸部への移 動や、東京都心部を東西に横断・通 過する等において、多様な経路が 選択可能
5			自動車専用道路へのアクセス強化	◎高規格道路から遠かった地域に 高規格道路が整備されることによ り、高規格道路へのアクセス性及び 各地・拠点への移動時間短縮に貢 献
19	E.地球温 暖化防止 等の環境 の保全	環境改善	地球環境・沿道環境の保全	○一般道での走行から高速度での 広域道路に転換することによる CO ₂ 排出量削減や、地下方式での整備 による地上部の環境改善に貢献
20			ネイチャーポジティブの実現	△道路の敷地を活用し、動植物の 生息・生育環境の形成に積極的に 取り組むことでネイチャーポジティブ へ貢献可能

◎：大いに貢献できる、○：貢献できる、△：貢献できる可能性がある

◎:大いに目標実現に貢献できる、○:目標実現に貢献できる、△:目標実現に貢献できる可能性がある

さらに、[redacted]についても同様に、多機能空間の[redacted]の導入による目標（留意事項）に対して、多機能空間の目標の実現可能性を検討した。表 4-8 に示す通り、当該地域においては、多機能空間の[redacted]の導入により、求められる目標を達成可能だと考えられる。

表 4-8 [redacted] 目標の設定

[redacted]	
------------	--

◎: 大いに目標実現に貢献できる、○: 目標実現に貢献できる、△: 目標実現に貢献できる可能性がある

4.2.2. 道路計画の必要性の整理

(1) 広域道路ネットワークに求められる役割に対応する道路計画の必要性の整理

広域道路ネットワークに求められる役割・機能に対応するための、道路計画の条件を整理した。その結果、①多車線の自動車専用道路であること、②東名 JCT 周辺から第三京浜ならびに湾岸線までのルートであること、③周辺地域の高速道路アクセス向上に寄与すること、

が必要であると考えられる。

表 4-9 広域道路ネットワークに求められる役割・機能に対する道路計画の条件

No.	分類	広域道路ネットワークに求められる役割・機能	道路計画の必要性
1	利便性強化・効率化	日常の移動の利便性・快適性を確保	①多車線の自動車専用道路 ②周辺地域の高速道路アクセス向上に寄与
2		日常の移動の定時性向上	
3		都市・拠点間アクセス強化	
4		経路選択の自由度の高い道路ネットワークを形成	
5		自動車専用道路へのアクセス強化	
6	都心の渋滞緩和	都心への通過交通流入の抑制	③東名 JCT 周辺から第三京浜ならびに湾岸線までのルート(環状道路の機能を果たす)
7	拠点機能強化	主要な鉄道駅や道の駅等の交通拠点へのアクセス強化	③東名 JCT 周辺から第三京浜ならびに湾岸線までのルート(環状道路の機能を果たす)
8	観光振興	観光拠点へのアクセス強化	
9	物流支援	物流網の形成	
10		トラックの大型化への対応	
11		空港・港湾等の物流拠点へのアクセス強化	
12		自動物流道路等の多機能空間への進化	
13	医療支援	第三次救急医療施設等へのアクセス向上	①多車線の自動車専用道路
14	交通安全	幹線道路における安全性向上	①多車線の自動車専用道路
15		歩行者・自転車に対して安全・安心な道路空間の創出	①多車線の自動車専用道路
16	防災	発災時の救命活動、支援物資輸送のための道路ネットワークの形成	①多車線の自動車専用道路
17		災害時のリダンダンシー確保	
18		治水機能(調整池・導水機能等)等の多機能空間への進化	
19	環境改善	地球環境・沿道環境の保全	①多車線の自動車専用道路
20		ネイチャーポジティブの実現	

(2) 配慮事項に対応する道路計画の必要性の整理

沿道地域の配慮事項を考慮した道路計画にかかる条件に対応するための、道路計画の条件を整理した。

その結果、(1)で整理した①～⑤に加え、

が必要であると考えられる。

表 4-10 配慮事項に対応する道路計画の条件

配慮事項		道路計画の必要性
1	極めて高度な土地利用がなされている。加えて、文化財指定された史跡などが点在している地域	
2	京浜臨海部及び羽田空港周辺地域は、国際的ビジネス拠点の形成を目指している	
3	東京外環は、東名高速～湾岸道路を除く全ての区間で既開通または事業中	③東名 JCT 周辺から第三京浜ならびに湾岸線までのルート
4	川崎縦貫道路 I 期が都市計画決定され用地取得が進んでいる	
5	国道 1 号や国道 409 号等の幹線道路沿いに大規模な公有地や民間事業所用地が存在	
6	学術・研究開発機関等が川崎市を中心に点在	①多車線の自動車専用道路
7	令和元年台風第 19 号により、東京外環(東名～湾岸)沿線地域では約 2,500 棟の浸水被害が発生	
8	令和 2 年「東京外かく環状道路(関越～東名)」工事における陥没事故が発生	